

“夏の足工” 伝統校のプライドを胸に

ASHIKAGA TECHNICAL High School Baseball Club News

AUG 2016 Vol. 5

今年も暑い夏が終わりました。夏の大会は、那須・那須海城の連合チームを相手に嬉しい大会勝利。そして春季県大会の準優勝校・青藍泰斗との2回戦は、延長までもつれ込む熱戦を演じながらの敗戦と、なかなか切り替えもできないままでしたが、多くの方のご尽力により新チームをスタートさせることができました。この場を借りてお礼申し上げます。

そして、その新チームですが、今年も約1ヶ月間で21試合を消化するハード・スケジュールとなりました。結果は7勝13敗（雨天ノーゲーム1）とメンバーも入れ替わり、まだまだ多くの課題を抱えている現状です。ただ、選手は本当によく頑張りました。そして何より、2年生7名と1年生10名の17名全員で、この夏を乗り切れたことを嬉しく思います。部員1人1人が身体面だけでなく、精神的にも逞しく成長してくれたことを実感した夏でした。

さらに、21日から実施された交流戦は、まず烏山高校を相手に8回コールド、13対6での勝利。続く宇都宮商業戦は6対3とリードしながら、無念の雨天ノーゲーム。そして迎えた再試合は、残念ながら0対8の7回コールド負けという結果に終わりました。今回の交流戦では、勝負は本当に何が起きるか分からないこと。そして、まだまだ実力不足ながら、やるべきことができれば、どこが相手でも勝つチャンスはあるということを再確認できました。何れにしても県大会を前に、そういった経験ができたことは貴重だと思います。本番は次です。この経験を生かしながら秋季大会では持てる力を発揮し、旋風を巻き起こせるよう一戦一戦、全力で立ち向かいたいと思います。

また、この夏の甲子園は、本県代表の作新学院が全国制覇を成し遂げました。全国の並み居る強豪校の中でもまったく引けを取らず、栃木県のレベルの高さを証明してくれたことを嬉しく思います。足利工業野球部としても、高校生らしい好チームとなるために日々の練習から真剣な取り組みを続け、努力していく所存です。選手の懸命なプレーに変わらぬご支援をお願いします。

